

能生中学校だより



# 三一録

令和5年3月23日  
3月号

糸魚川市立能生中学校  
〒949-1352 能生2643  
☎ 025-566-2065



能生中学校ホームページ <http://www.itoigawa.ed.jp/nou-jhs/>

## 第31回卒業式 校長式辞

校長 吉田 和則

思いもよらぬ二月の大雪に驚かされましたが、三寒四温を繰り返し、確実に春の訪れを感じられる穏やかな日々が訪れています。

この佳き日に、糸魚川市議会議長 様、能生中学校後援会長 様をはじめ、多くのご来賓のご臨席のもと、第三十一回卒業証書授与式が挙行できますことを心から感謝し、厚く御礼申し上げます。

保護者の皆様、本日は誠におめでとうございます。お子様の立派に成長された姿を前にして、大きな喜びを感じられていることと思います。また、これまで、当校の教育活動にご理解とご協力を賜りましたことに厚く感謝申し上げます。

卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。

皆さんの門出の日を飾る会場の花たちは、買いそろえたものではなく、皆さんの尊い意志を受け継いだ後輩たちや教職員が手をかけ、種から植え付けたり、差し芽から世話をしたりして花を咲かせたものです。ステージを飾る桜は、皆さんの教室から見えた冬の厳しい寒さに蕾をかたくしていた、桜です。管理員さんが準備してくださり、先生方が休日にも温度管理に気を配り、今、咲き誇っています。皆さんを愛する仲間たちの思いの表れで会場を飾ることができたことをうれしく思っています。

皆さんの中学校での三年間は、思いもよらぬできごとでスタートしました。長く続いた自宅待機の時間は、孤独と不安の戦いだったと思います。そのような中でも、人との絆を大切に、他の人を

思いやったり、違う考えも尊重できたりする人間関係を作り上げていきました。

二年生では、創立三十周年を自ら祝う中、先輩を支え、後輩の良き手本となって積極的に活動する頼もしい姿。貴重な経験を積み重ね、多くの知識を身に付けていきました。

そして、三年生。『革新』をスローガンに掲げ、新たな挑戦を繰り返してきた生徒会活動の原動力として活躍しました。止めるのではなく、どうすればいいのか考えて行った春開催の体育祭は、大きな成果を上げました。学級開きと共に始まった応援リーダー活動は、チームの中心となり、県で勝負を目指す部活動との両立に大きな困難を感じたことでしょうか。このようななかでも仲間を信じて支え合い、創り上げた経験は何物にも代えることができないことだったと思います。

自分たちの夢が明確となり、仲間との大切な一時を過ごす休み時間には仲間同士で課題を教え合う姿を幾度も見ました。静まりかえった朝の教室で黙々と勉強する姿もありました。授業中は、タブレットを有効活用して、メリハリのある活発な意見が飛び交う授業態度でした。まさに「受験勉強は団体戦」を実践して、自己実現に向けた多くの知識を身に付けていきました。

皆さんが中心となって創り上げてくれた持続可能な能生中の目標 SNG s 活動の日々の実践、地域を明るくする挨拶運動、感謝の気持ちを伝えた花街プロジェクト、地域に貢献した糸魚川コトンプロジェクトなどで、気づかなくとも、たく

さんの経験を通じて多くの知識を身に付けてきたのです。

先日見ていたテレビ番組の中で、皆さんと同世代の高校生が話していました。「お金や権力は衰えていく、無くなっていく、そして取って代わられる。しかし、知識や経験は、誰かに邪魔されるものではなく、取って代わられるものではない。皆さんがもっている知識や経験に自信をもってください。そしてこれから続く、難しい世の中を生き抜いてください。」と熱い思いを語っていました。皆さんがこの能生中学校で過ごした三年間、仲間と共に培った知識や経験はかけがえのない財産です。能生中を巣立った後にも、この知識や経験は、皆さんの夢の実現の大切な手立てとなることでしょう。この素晴らしい瞬間を忘れずに前に進んでいってください。

能生中学校の活動は、地域の方々に支えられて成り立っています。これからは、地域の先輩として、能生中学校の仲間たちを導いていってください。そして、皆さんが思いを託し、進化し続ける

能生中学校の姿を見に来てください。来年度以降、体育祭や音楽祭には、同窓生として、地域住民として元気な姿を見せてください。夢の実現の途中、成長し続ける皆さんに会えることを楽しみにしています。

保護者の皆様、皆様のお子さんたちは、能生の宝です。社会の宝です。これまでの皆様の愛情と支援の賜です。これからも限りない愛情で卒業生の皆さんを支えてあげてください。この素晴らしい佳き日を皆様と一緒に祝いできますことを感謝申し上げます。

結びに、

今日をもって九年間の義務教育を終え、希望に満ち溢れる世界へと旅立つ四十三名の卒業生の皆さんの輝かしい前途に幸多きことをお祈りし、式辞といたします。

令和五年 三月 三日

糸魚川市立能生中学校長 吉田 和則

## 3月3日（水）第31回卒業式が行われました

(能生中トピックスから抜粋)

### 第31回卒業証書授与式

#### 43名の旅立ち

3月3日に第31回卒業証書授与式を行いました。4年ぶりに市議会議長様をはじめ、30余名のご来賓をお招きしての卒業式でした。

卒業式会場は43名を愛する仲間たちが感謝の思いを込めて育てたパンジーが花道を飾り、ステージ上は近隣の地域の方が丹精を込めて世話をされている松と、休日も温度管理を行い咲かせた、卒業生の教室から見えていた満開の桜。生命を繋いできた『花街プロジェクト』のマーガレットやカラコエ、アザリアの花々が飾られました。

校長は式辞の中で、富や権力は無くなったり、誰かに取って代わられたりするが、能生中学校で仲間と培った知識や経験はかけがえのない財産であり、誰かに取って代わられるものではないと、11歳で世

界遺産マイスターとなった男子高校生の言葉を引用し、今後の活躍へのエールを贈りました。

在校生代表の送辞では、自分たち後輩を引っ張り、新たな挑戦を立派に成し遂げた卒業生への感謝の言葉と、音楽祭で会場を感動の渦に巻き込んだ合唱を、もう一度卒業合唱でも再現してもらい、その感動を胸に刻みたいと希望しました。



卒業生代表の答辞では、新型コロナウイルス感染症との戦いの中で、入学してきたが、それぞれの困難にも負けずに助け合い、支え合ってきた仲間たち



との思い出を鮮明に語りました。そして、保護者や地域の方々、後輩や教職員への感謝の言葉と共に、新たに立ち向かう夢の実現のために違った路を進む仲間たちに、お互いを信じて前を向いて歩いていこうとエールを贈りました。

卒業生が選んだ卒業合唱の曲は、RADWIMPSの『正解』。まさに想像もできない、何が正解か分からない思いもよらぬ出来事からスタートした中学校生活を思い起こすような曲。

一緒に涙したり、笑いあった友と違った路を歩み出す自分たちへのエールのようなものでした。自分たちで歌い上げた「よーい、はじめ」の合図で元気に歩み出してくれることでしょう。



後輩の想像を大きく超える、『感動』の素晴らしい合唱でした。卒業生の思いが会場の皆さんに届いた一瞬でした。

卒業式の後、各学級での最後の終学活。恩師から贈られる熱い思いに、式場では見せなかった涙が溢れていきました。

一年間、仲間と過ごした思い出多い教室で、最後の集合写真。今度は溢れんばかりの笑顔。思い出の瞬間を封じ込めていきました。

7日には公立高校の入試が行われます。それぞれの夢のために全力を尽くしてください。夢に向かって『よーい、はじめ』

## 1, 2年生で行う生徒朝会

3月6日の朝、生徒朝会が行われました。生徒会本部が企画し、1, 2年生だけで行う朝会でした。本部役員からは、令和5年度の生徒会スローガンについてのアンケート実施の連絡がされました。



例年より早い取組です。新体制の熱意が感じられる動きでした。

給食委員会からは、新しくなった給食着の紹介がありました。スモックタイプとなり、より衛生的な素材を使った給食着です。能生中後援会から支援を受けた30着を準備しました。給食委員長からは、「身だしなみを整えて衛生面に注意しながら、配膳をお願いします。感謝の気持ちで大切に使いましょう」と全校生徒に呼びかけがありました。

6日から、新しい給食着で、頭は三角巾の衛生的な給食配膳が行われました。食の安全に注意しながら、食育教育を進めていきます。

令和5年度 4月行事予定

日	曜日	年間行事	給食	部活
1	土			
2	日			
3	月	年度初め休業		
4	火			
5	水	学級発表		
6	木			
7	金	①新任式 始業式	○	×
8	土			
9	日			
10	月	⑤入学式 ⑥学活	○	×
11	火	①全体指導 ⑤交通安全指導 ⑥自転車教室	○	○
12	水		○	○
13	木	③④身体計測 ⑤⑥生徒会入会式	○	×
14	金	⑤授業参観 ⑥PTA総会～部活動参観～17時まで	○	○
15	土			
16	日			
17	月	①②知能検査1年	○	×
18	火	全国学力・学習状況調査調 国数英	○	○
19	水	耳鼻科検診（全校）AM8:40	○	○
20	木		○	×
21	金		○	○
22	土			
23	日			
24	月		○	×
25	火		○	○
26	水		○	○
27	木	心電図検査（1年）・血液検査（2年）9:40～10:40	○	×
28	金	☑部活動正式入部	○	○
29	土	祝昭和の日		
30	日	吹奏楽の集い		